

大分西部森林管理署交渉
(全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会)
議 事 要 旨

1 開催日時：平成28年6月29日（水）15：15～16：15（60分）

2 場所：大分西部森林管理署会議室

3 出席者：

大分西部森林管理署
同
同

秋山郁男
塚本 徹
古澤竜喜

署長
次長
総括事務管理官

全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会
同
同
同
同
同

山本純也
秋吉新二
市原増雄
穴井隆文
立山計司

委員長
副委員長
副委員長
書記長
執行委員

4 交渉事項

- (1) 労働安全及び健康管理対策の充実について
- (2) 職員の労働負担軽減等への改善要求について
- (3) 宿舍の確保について

5 議事概要

(1) 労働安全及び健康管理対策の充実について

組合) 請負事業体の重大災害が4年連続して発生するとともに、平成27年度は4日以上休業の災害が24件発生しており憂慮すべき事態である。労基署との連携強化、契約時や巡視等に安全指導が行われているが、形式的にならないように様々な機会を捉えて的確に指導をしてもらいたい。

当局) 国有林からは災害は出さないという考えのもと、本年度も引き続き、契約時や現場巡視、労基署との合同パトロールも含め、事業体主催の安全パトロール等あらゆる機会を通じ発注者の立場から労働安全衛生規則の改正等を含め、適切に指導して参りたい。

組合) 熊本・大分の地震やその後の雨で、林道への転石等により、官用車走行では注意が必要であること等から、非常時の通信（携帯）が可能な通信エリアの確認・周知も必要ではないか。

当局) 官用車等の運転では防衛運転に取り組み安全走行に努めるよう引き続き指導して参りたい。携帯電話の通信エリアは再確認し、署内も含め改めて周知したい。

組合) 職員への安全対策や健康管理では管理者がリーダーシップを発揮し、引き続き取り組み願いたい。今年度の九州局1号災害も同様だが、職員災害では足下の不確認や転倒が目立つ。当署からは災害を出さない取り組みをお願いしたい。また、業務量の増加が見られる職員もいることから、メンタルにならないよう目配り、気配りをお願いしたい。

当局) 安全対策については、人命尊重の観点から極めて重要であり、事業の円滑な運営に不可欠と考えている。過去の災害を教訓に健康安全協議会、安全大会等を実施することにより、安全管理者等の結束力を強化し、全職員一丸となって取り組み、直請問わず当署から災害をださないとの決意のもと災害防止に努めて参りたいと考えている。また、職員が明るく仕事をしていくためには心と体の健康が重要と考えている。当署での現状等を踏まえ、アンテナを高くし、目配り、気配りを欠かさぬよう努めて参りたい。

(2) 職員の労働負担軽減への改善要求について

組合) 当署は、移動距離が長く、運転には気を遣う。一人の運転者ばかりに負担がかからぬよう、運転交代等を同行者に指導されたい。

また、昨年度の年次有給休暇の取得状況はどうなっているか伺いたい。

職員によっては取得日数が少ない傾向もあるので、健康保持や負担軽減の観点から対策はどう考えているのか。

当局) 官用車の長距離運転については、安全大会等機会を捉え指導したい。

また、年次休暇の取得促進については、職員の心身の健康保持と、ゆとりある生活の実現等の観点から大変重要なことと認識しているところであり、年次休暇が取得しやすい雰囲気を作るためにも、引き続き管理者や各総括等が積極的に取得することとしている。なお、昨年度の年次休暇取得率は前年度と比較して上昇している。

(3) 宿舎の確保について

組合) 宿舎削減計画により宿舎が足りていない。現存宿舎の存続を要望したい。

当局) 現時点で存置宿舎12戸と財務局合同宿舎3戸、国土交通省宿舎1戸の計16戸を確保しているところである。合同宿舎・他省庁宿舎の確保等要望について上局に伝えて参りたい。